

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) キョウリンダイガク	フリガナ) ソウゴウセイサイクガクブ	フリガナ) ハンダ ヒデトシ
杏林大学	総合政策学部	半田 英俊ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) チームササバン	フリガナ) クロキ リナ	4	無	無
チームささばん	黒木 利奈			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

特になし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

私とあなたの意識改革～食品ロスに私達ができること～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

インナー大会は、約 150 組ある他大学との交流を深める目的で、日頃のゼミ活動の研究成果を発表する大会である。私達のチームでは、今現在、社会的な問題となっている食品ロスについて、研究を進めている。私達自身ができることは何かを軸にして、食品ロスを少しでも削減できる取り組みを行った。その研究成果を発表する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

日本では、年間で見ると約 637 万トンもの食品ロス量が出ている。これは、毎日大型トラック 1740 台分のロスが出ていることになる。食品ロスの内訳は、事業系廃棄量と家庭系廃棄量に分かれている。事業系廃棄量は、最も多いときで約 357 万トン、家庭廃棄は約 312 万トンとなっている。現在政府では、「NO-FOODLOSS PROJECT」という取り組みを行っているが、過去 5 年間の食品ロス量の推移を見ると、ほとんど改善していない。

3. 研究テーマの課題

インナー大会で発表するこの食品ロスの課題は、一人一人の食に対する意識を変える必要があることだ。消費者である私達が取り組むべき課題は、賞味期限や消費期限などの期限表示の意味を正しく理解することだ。そして料理の際の皮の剥きすぎ、食べられる部分を除去せずに利用するという調理方法を考えることも必要だ。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私達が考えた課題解決策はミールキットだ。ミールキットは、カット済みの食品と調味料をレシピと共に利用者の元まで、有料で届けるシステムである。これを行うことにより、農家やスーパーマーケットでの食品ロス削減に繋がる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私達が行ったミールキットは本来のものとは異なり、農家で、廃棄前の食材を無料で提供してもらい、学生に無料で配布するというものだ。実施する前に、学生に需要があるかを確認するため、学生 108 人を対象にアンケート調査を行った。一人暮らしの学生が 4 人に 1 人という割合であった。次に食費について、一人暮らしの学生を対象に調査したところ 3 人に 1 人が生活費の内約半分以上を食費に費やしていると答えた。ミールキットの無料配布については、半数以上の 64%が利用すると答えた。ミールキットを作るに伴い、三鷹市福祉協議会の方と富澤ファームの方の協力の下、活動を行った。じゃがいも・なす・たまねぎ・かぼちゃの 4 種類の野菜を使い、夏野菜カレーのミールキットを 15 食分作成した。

6. 結果や今後の取り組み

事前に SNS を通してミールキットの配布の宣伝活動を行った。そのお陰もあり、当日は 15 食分すべてのミールキットを配り終えることに成功した。今後は、ミールキットの普及と共に、食べることに對しての意識改革を進めていく。そのために今後も、三鷹市福祉協議会の方と富澤ファームの方と連携して、市の規模での活動を考えている。

7. 参考文献

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/pdf/efforts_190711_0001.pdf#search=%27%E9%A3%9F%E5%93%81%E3%83%AD%E3%82%B9%E5%89%8A%E6%B8%9B%E5%8F%82%E8%80%83%E8%B3%87%E6%96%99%27
<https://kotobank.jp/word/%E9%A3%9F%E5%93%81%E3%83%AD%E3%82%B9-667838>
http://www.maff.go.jp/j/study/syoku_loss/06/pdf/data.pdf

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP

マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください